

電子情報通信学会  
基礎・境界ソサイエティ誌 (F R)  
原稿執筆のしおり

(原稿執筆前に必ずお読み下さい)

(平成 19 年 2 月 施行)

(社) 電子情報通信学会基礎・境界ソサイエティ

## 1. 執筆上の注意事項

- (a) 以下の点に留意し執筆されたい。
- (1) 原稿は任意のA4判の用紙で1枚25字×24行で作成する。  
これが4枚で刷り上がり1ページ(約2,450文字)となる。
  - (2) 編集時に赤字を入れるので、行間及び周囲の余白を広くとること。
  - (3) 原稿提出にあたっては、必ず電子ファイル、または、ハードコピーの控えを手元に保管すること。
  - (4) ハードコピーと共に、フロッピーディスク、MO、CD、メール(service@ieice.org)等で電子ファイルを送付すること。
  - (5) 電子ファイルを送付する際には、必ず以下を明記すること。
    - ① OS名とバージョン
    - ② ワードプロソフト名とバージョン
    - ③ 図を作成したソフト名とバージョン(例) Windows 2000 Word 2000,  
Adobe Illustrator ver. 10
- 注1) 文字コードはシフトJISコードとする
- (b) 記事の種類、標題、会員・非会員の別、氏名及び勤務先・所属(なるべく詳しく)を原稿第1ページに和・英両文で記すこと。  
第2ページ以降を本文とする。
- (c) **用語解説** 専門外の会員に理解困難と思われる用語・略語については努めて用語解説をつけること。  
なお、編集委員会で閲読の結果、必要と思われる用語・略語については用語解説の執筆を依頼する。
- (d) 文体は、口語文章体とすること
- (e) 原則として「**常用漢字**」を用い、仮名は「**新仮名づかい**」とすること(付録A)。
- (f) 数字、ローマ字、ギリシャ文字、ドイツ文字などは特に明りょうに(大文字、小文字、上つき、下つき、イタリック体の別など)記載すること。
- (g) **句読点**は「.」及び「,」を用い、それぞれ1画を用いること。
- (h) **用語**は、原則として、
  - ①文部科学省「**学術用語集電気工学編**」,
  - ②本会編「**改訂電子情報通信用語辞典**」,
  - ③「**エンサイクロペディア電子情報通信ハンドブック**」を参照のこと。
- (i) **量記号・単位記号**の略号(SI)及びシンボルは、原則として「**電子情報通信ハンドブック**」記載のものを用いること。
- (j) 本文中に用いる記号には必ず説明をつけること。
- (k) 図中に用いる文字は日本語とする。
- (l) **図面の説明**：すべての図面には、図の番号・ネームのほかに、2~4行の説明を付し、それだけで理解できるようにする。説明文は、本文と重複してもかまわない。
- (m) 下記に該当する図表、写真は避けること。
  - (1) こすって消えるもの
  - (2) 不鮮明に複写されたもの
  - (3) 記号や線が専門家でない人が見て判断しにくいものなお、図面は刷り上がり寸法の2~3倍の大きさに書くこと。図、表、写真の挿入箇所を原稿用紙の右欄外に明記すること。
- (n) **図表、写真を他の図書、雑誌などから引用する場合は**、その著者及び出版社の了解を得た上、原稿を送付願いたい。
- (o) **ページ計算**：ページ計算は下記を目安として頂きたい。

本文は2,450文字(25文字×49行×2段)で刷り上がり1ページとなる(ただし、見出し部分、著者紹介、図面等を含む)。写真、図表は4図程度で刷り上がり1ページとなる。文献は20編程度で刷り上がり0.5ページとなる。

(p) 文献の書き方

- (1) 文献は以下の形式により作成すること。
- (2) 本文中に引用する順番に並べること。
- (3) 著者が複数の場合も、全著者の氏名を記入すること。
- (4) 論文標題中の単語については、文頭以外は小文字を使用すること。
- (5) 雑誌名は、付録Bの「学術雑誌略語表」に従って略語で記すこと。

・雑誌

(1) 著者名, “標題,” 雑誌名, 巻, 号, pp. をつけて始め-終りのページ, 月(英語)年。

(1) 山上一郎, 山下二郎, “パラメトリック増幅器,” 信学論(B), vol. J62-B, no. 1, pp. 20-27, Jan. 1979.

(1) W. Rice, A. C. Wine, and B. D. Grain, “Diffusion of impurities during epitaxy,” Proc. IEEE, vol. 52, no. 3, pp. 284-290, March 1964.

・著書, 編書

(2) 著者名, 書名, 編者名, 発行所, 発行都市:

(2) 山田太郎, 移动通信, 木村次郎(編), pp. 21-41, (社)電子情報通信学会, 東京, 1989.

(2) Handbook of Sensory Physiology, M. G. F. Fuortes, ed., Springer-Verlag, Berlin, 1972.

・著書の一部を引用する場合

(3) 著者名, “標題,” 書名, 編者名, 章番号または pp. をつけて始め-終りのページ, 発行所, 発行都市名, 発行年。

(3) 山田太郎, “周波数の有効利用,” 移动通信, 木村次郎(編), pp. 21-41, (社)電子情報通信学会, 1989.

(3) H. K. Hartline, A. B. Smith, and F. Ratliff, “Inhibitory interaction in the retina,” in Handbook of Sensory Physiology, M. G. F. Fuortes, ed., pp. 381-390, Springer-Verlag, Berlin, 1972.

・国際会議

(4) 著者名, “標題,” 会議名, no. をつけて論文番号, pp. をつけて始め-終りのページ, 都市名, 国名, 月(英語)年。

(4) Y. Yamamoto and K. Igeta, “Micro-cavity semiconductors with enhanced spontaneous emission,” Proc. 16th European Conf. on Opt. Commun., no. MoF 4.6, pp. 3-13, Amsterdam, The Netherlands, Sept. 1990.

・国内大会, 研究会論文集

(5) 著者名, “標題,” 学会論文集名, 分冊または号, no. をつけて論文番号, pp. をつけて始め-終りのページ, 月(英語)年。

(5) 川上三郎, 川口四郎, “紫外域半導体レーザ,” 1995 信学総大, 分冊 2, no. SB2-1, pp. 20-21, Sept. 1995.

・国の報告書, 編書

(6) 発行機関(編), 書名, 発行年。

(6) 文部省(編), 中学校指導書 数学編, 平成元年。

雑誌名の略語については付録を参照のこと。一般に公開されない文献, 例えば, 委員会報告, 社内報告などを文献として引用するのは適当でない。

## 2. 著作権

1. 掲載される記事の著作権及び電子的形体による利用も含めた包括的な著作権も原則として本会に帰属し, その運用方法は次のとおりである。

(a) 著者自身が自分の記事を複製・翻訳・翻案などの形で利用することは差し支えないし, また, 本会はこれに対して異議申立てをしたり, 妨げることはしないが, 翻訳利用, 及び記事を全面的あるいは大部分他の著作物に利用する場合には, その旨本会(事務局)に申し出るとともに, 出典を明記されたい。

また, 一部分を利用する場合には, 文献あるいは図説の下に出典を明記すること。

(b) 下記のような特別な事情で著作権の本会への帰属が困難な場合には, 著者と本会の間で別途協議するので申し出られたい。

(1) 大会の特別講演記事などで, 特に著者が著作権の移転を望まない場合。

(2) 記事内容が、著者個人のみでなく、著者の所属する機関などにかかわるもので、著作権の帰属に関し、所属機関の了承が得られない場合。

以上の方針を御了承頂いた上で記事原稿を作成されることを希望します。

2. 他誌から本誌に引用される場合は、次のことに十分留意されたい。

(a) 引用する文献の著作権に十分注意されたい。

(b) 図面・表・写真を他の図書、雑誌などから引用する場合には、事前に、その著者及び出版社の了承を得られたい。

### 3. その他

(a) **原稿の送付先**

〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5番8号 機械振興会館101

(社) 電子情報通信学会 サービス事業部 機関誌 (FR) 担当

E-mail service@ieice.org

(b) **正誤** 著者から正誤の申し出があった場合には原稿と対照し、誤植と原稿訂正との別を明らかにして最近号に掲載する。

(c) 必要な場合には「**著者紹介**」のための写真、略歴をお願いする。

# 付録A 常用漢字表・送り仮名について

昭和 56 年 10 月 1 日の内閣告示に、常用漢字表が示された。これは、法令・公用文書・新聞・雑誌・放送など、一般社会生活で用いる場合の、効率的で共通性の高い漢字を収め、分かりやすく通じやすい文章を書き表すための漢字使用の目安を示すものである。

国会としては、この目安を準用し、以下にその基本の概略を示す。

(平成 11 年 2 月編集連絡会)

**I 原則**「内閣告示により許される範囲で、漢字を使用し、送り仮名も省略する」という方針に基づき細部の具体例においては、極力例外を少なくすることとした。

イ。「常用漢字表」に、その漢字の音・訓が示されているものは、後に定める以外は、努めて漢字を使用する。  
ロ。送り仮名については、従来の「改定送り仮名の付け方」による。

**II 具体例** (常用漢字表にその音訓があるものを漢字と仮名とに使い分けるもの)

## 1. 代名詞 (漢字で書くもの)

彼、何、僕、私、我々

## 2. 副詞・連体詞 (漢字で書くもの)

必ず、少し、既に、直ちに、甚だ、再び、全く、最も、専ら、余り、至って、大いに、恐らく、必ずしも、辛うじて、極めて、殊に、更に、少なくとも、絶えず、互いに、例えば、次いで、努めて、常に、初めて、果たして、割に、概して、実に、切に、大して、特に、突然、無論、明るく、大きな、来る、去る、小さな、我が (国)

(仮名で書くもの)

かなり、ふと、やはり、など、よほど、すべて

## 3. 接頭語

「御」は、後に付く語が常用漢字で使える場合には漢字で書き、使えない場合には仮名で書く。

[例] 御案内、御調査、ごべんたつ、ごあいさつ

## 4. 接尾語

は原則として仮名で書く。

[例] 惜しげ、偉ぶる、弱み、少なめ、私ども

## 5. 接続詞

5.1 接続詞は、5.2 に定める以外は原則として仮名で書く。

おって、かつ、したがって、ただし、ついては、ところが、ところで、また、ゆえに、または

5.2 次の接続詞は原則として漢字で書く。  
及び、並びに、若しくは、更に

## 6. 助動詞および助詞

助動詞および助詞は仮名で書く。

[例] ない (現地には行かない)  
ようだ (それ以外に方法がないようだ)  
ぐらい (二十歳ぐらいの人)  
だけ (調査しただけである)  
ほど (三日ほど経過した)

7. 次のような語句を、( ) の中に示した例のように用いるときは、原則として、仮名で書く。

[例] こと (許可しないことがある)  
とき (事故のときは連絡する)  
ところ (現在のところ差し支えない)  
もの (正しいものと認める)  
とも (説明するとともに意見を聞く)  
ほか (特別の場合を除くほか)  
ゆえ (一部の反対のゆえにはかどらない)  
わけ (賛成するわけにはいかない)  
とおり (次のとおりでである)  
ある (その点に問題がある)  
いる (ここに関係者がいる)  
なる (合計すると 1 万円になる)  
できる (だれでも利用ができる)  
……てあげる (図書を貸してあげる)  
……ていく (負担が増えていく)  
……ておく (通知しておく)  
……てくる (寒くなってくる)  
……てしまう (書いてしまう)  
……てみる (見てみる)  
ない (欠点がない)  
……てよい (連絡してよい)  
……かもしれない (間違いかもしれない)  
……にすぎない (調査だけにすぎない)  
……について (これについて考慮する)

8. 例外として「…できる」「…できる限り」は、仮名書き

とするが、「出来心」、「出来高」、「出来上がり」は、漢字で書く。

9. 常用漢字表にはずれた漢字を用いたことば。

9.1 仮名書きにしても誤解のおこらない次のことばは仮名で書く。この場合、仮名の部分に傍点をつけることはやめる。

[例] 以って→もって  
此→この  
之→これ  
其→その  
為→ため  
等(ら)→ら

9.2 仮名書きにする際、単語の一部分だけを仮名に改める方法は、できるだけ避ける。ただし、漢字を用いた方が分かりよい場合はこの限りでない。

あへん煙、あて名、ちんでん池、ほうろう鉄器

9.3 常用漢字表にない漢字を用いた専門用語等であつて、他に言い換えることばがなく、しかも仮名で書くと理解することができないと認められるようなものについては、その漢字をそのまま用いて初出時にのみふ

りがなをつける。

[例] 砒<sup>ひ</sup>素, 蘭<sup>い</sup>, 蛾<sup>が</sup>, 禁<sup>こ</sup>錮

10. 常用漢字表にあつても、仮名で書くもの

虞→おそれ

且つ→かつ

従って(接続詞)→したがって

但し→ただし

但書→ただし書

外→ほか

又→また(山また山)

因る→よる

11. 特定の語については、表記の慣習を尊重して次のように書く。

[例] 動詞の「いう(言)」は、「いう」と書く。

ものをいう(言), いうまでもない, 昔々あったという, どういうふうに, 人というもの, こういうわけ

## 付録B 学術雑誌略語表

### 1. 邦文雑誌

略 語	雑 誌 名
信学誌	電子情報通信学会誌
信学論 (A)	電子情報通信学会論文誌 (A)
信学技報	電子情報通信学会技術研究報告
昭 60 信学総全大	昭和 60 年電子情報通信学会総合全国大会講演論文集 (昭和 51 年～62 年)
昭 61 信学△△全大	昭和 61 年電子情報通信学会△△部門全国大会講演論文集 (昭和 51 年～62 年)
昭 63 信学○季全大	昭和 63 年電子情報通信学会○季全国大会講演論文集
1990 信学春季全大	1990 年電子情報通信学会春季全国大会講演論文集 (1989 年～1991 年春季全大)
信学 '92 春大	1992 年電子情報通信学会春季大会講演論文集 (1992 年～1994 年)
信学 '93 秋大	1993 年電子情報通信学会秋季大会講演論文集 (1991 年～1994 年)
1995 信学総大	1995 年電子情報通信学会総合大会講演論文集 (1995 年～)
1995 信学ソ大 (基礎・境界)	1995 年電子情報通信学会ソサイエティ大会 (基礎・境界) 講演論文集 (1995 年～)
FIT2002	20XX 年情報科学技術フォーラム講演論文集 (情報・システムソサイエティ 2002 年～)
平 2 連大	平成 2 年電気・情報関連学会連合大会講演論文集
平 3 △△連大	平成 3 年 (度) 電気関係学会△△支部連合大会講演論文集
ME 誌	医用電子と生体工学
Med. Imaging Technol.	日本医用画像工学会 (JAMIT) 誌 "MEDICAL IMAGING TECHNOLOGY"
エレクトロニクス実装学会誌	エレクトロニクス実装学会誌
応用物理	応用物理学会誌
第 10 回応物春季予稿集	第 10 回春季応用物理学関係連合講演会講演予稿集
第 11 回応物秋季予稿集	第 11 回秋季応用物理学学会学術講演予稿集
オペレーションズ・リサーチ	オペレーションズ・リサーチ
音響誌	日本音響学会誌
音響学△△研資	日本音響学会△△研究会資料
音響論集	日本音響学会講演論文集
化学と工業	化学と工業
画像学誌	画像電子学会誌
昭 60 画像学全大	昭和 60 年度画像電子学会第 X 回全国大会予稿集 (～平成 2 年)
第 XX 回画像電年次大会	画像電子学会第 XX 回年次大会予稿集 (平成 3 年～)
計測制御	計測と制御
コンピュータソフトウェア	コンピュータソフトウェア
情報処理	情報処理
情処学論	情報処理学会論文誌
情処学△△研報	情報処理学会△△研究報告
第△△回情処学全大	第△△回情報処理学会全国大会論文集
照学誌	照明学会誌
人工知能誌	人工知能学会誌
テレビ誌	テレビジョン学会誌
テレビ学技報	テレビジョン学会技術報告
1991 テレビ学全大	1991 年テレビジョン学会全国大会講演予稿集
映像学誌	映像情報メディア学会誌 (1997 年 1 月号～)
映像学技報	映像情報メディア学会技術報告
映像学△△研資	映像情報メディア学会△△研究会資料
20XX 年 映像学年次大	20XX 年映像情報メディア学会年次大会講演予稿集
電学誌	電気学会雑誌

略 語	雑 誌 名
電学論	電気学会論文誌
電学△△研資	電気学会技術委員会△△研究会資料
平3電学全大	平成3年電気学会全国大会講演論文集
物学誌	日本物理学会誌
NHK 技術	NHK 技術研究
研実報	電気通信研究所研究実用化報告
NTT R&D	NTT R&D

## 2. 欧 文 雑 誌

略 語	雑 誌 名
ACM Trans. ××	ACM Transactions on××
Acta Inform.	Acta Informatica
Acustica	Acustica
Adv. Eng. Softw.	Advances in Engineering Software
AIP Conf. Proc.	AIP Conference Proceedings
Alta Freq.	Alta Frequenza
Appl. Artif. Intell.	Applied Artificial Intelligence
Appl. Phys. B, Lasers Opt.	Applied Physics B :Lasers and Optics
Appl. Phys. Lett.	Applied Physics Letters
Artif. Intell.	Artificial Intelligence
AT & T Tech. J.	AT & T Technical Journal
Aust. Telecommun. Res.	AustralianTelecommunication Research
Automatica	Automatica
Bell Lab. Rec.	Bell Laboratories Record
Bell Labs Tech. J.	Bell Labs Technical Journal
Biol. Cybern.	Biological Cybernetics
Biophys. J.	Biophysical Journal
Br. Telecommun. Eng.	British Telecommunications Engineering
Circuits Syst. Signal Process.	Circuits, System, and Signal Processing
Commun. ACM	Communications of the ACM
Comput. Aided Des.	Computer Aided Design
Comput. Appl.	Computer Applications
Comput. Humanit.	Computers and the Humanities
Comput. J.	Computer Journal
Comput. Lang.	Computer Languages
Comput. Netw.	Computer Networks
Comput. Oper. Res.	Computers & Operations Research
Comput. Surv.	Computer Survey
Computer	Computer
COMSAT Tech. Rev.	COMSAT Technical Review
Control Eng.	Control Engineering
Cybernetics	Cybernetics
Databases J.	Database Journal
Digit. Signal Process.	Digital Signal Processing
Digit. Process.	Digital Processes
Electron. Des.	Electronic Design
Electron. Eng.	Electronic Engineering
Electron. Lett.	Electronics Letters
Electronics	Electronics
Elektron. Rechenanl.	Elektronische Rechenanlagen
Ericsson Rev.	Ericsson Review
Frequenz	Frequenz
Hewlett—Packard J.	Hewlett—Packard Journal
IBM J. Res. Dev.	IBM Journal of Research and Development
IBM Syst. J.	IBM Systems Journal
IBM Tech. Discl. Bull.	IBM Technical Disclosure Bulletin
IEE Proc. A~J	IEE Proceedings A~J
IEEE Commun. Mag.	IEEE Communications Magazine
IEEE Comput. Sci. Eng.	IEEE Computational Science and Engineering



略 語	雑 誌 名
IEEE Electron Device Lett.	IEEE Electron Device Letters
IEEE Intell. Syst.	IEEE Intelligent Systems
IEEE J. ××	IEEE Journal of ××
IEEE Micro	IEEE Micro
IEEE Microw. Guid. Wave Lett.	IEEE Microwave and Guided Wave Letters
IEEE Netw.	IEEE Network
IEEE Pers. Commun.	IEEE Personal Communications
IEEE Photonics Technol. Lett.	IEEE Photonics Technology Letters
IEEE Signal Process Mag.	IEEE Signal Processing Magazine
IEEE Spectr.	IEEE Spectrum
IEEE Trans. ××	IEEE Transactions on ××
IEEE/ACM Trans. Netw.	IEEE/ACM Transactions on Networking
IEICE Trans. Fundamentals	IEICE Transactions on Fundamentals of Electronics, Communications and Computer Sciences (1992~)
IEICE Trans. Commun.	IEICE Transactions on Communications (1992~)
IEICE Trans. Electron.	IEICE Transactions on Electronics (1992~)
IEICE Trans. Inf. & Syst.	IEICE Transactions on Information and Systems (1992~)
Inf. Control	Information and Control
Inf. Process. Lett.	Information Processing Letters
Inf. Sci.	Information Sciences
Inf. Syst.	Information Systems
Izv. Akad. Nauk SSSR Ser. Fiz.	Izvestiya Akademii Nauk SSSR, Seriya Fizicheskaya
J. Acoust. Soc. Am.	Journal of the Acoustical Society of America
J. Am. Soc. Inf. Sci.	Journal of the American Society for Information Science
J. Appl. Phys.	Journal of Applied Physics
J. Assoc. Comput. Mach.	Journal of the Association for Computing Machinery
J. Comput. Syst. Sci.	Journal of Computer and System Sciences
J. Cryptol.	Journal of Cryptology
J. Electron. Mater.	Journal of Electronic Materials
J. Inf. Process.	Journal of Information Processing
J. Lightwave Technol.	Journal of Lightwave Technology
J. Microelectromech. Syst.	Journal of Microelectromechanical Systems
J. Opt. Soc. Am.	Journal of the Optical Society of America
J. Phys. A~G	Journal of Physics A~G
J. Phys. Chem. Solids	Journal of the Physics and Chemistry of Solids
J. Radio Res. Lab.	Journal of the Radio Research Laboratories
J. Solid State Chem.	Journal of Solid State Chemistry
J. Speech Hear. Res.	Journal of Speech and Hearing Research
J. Syst. Softw.	Journal of Systems and Software
J. Vac. Sci. Technol. B, Microelectron Nanometer Struct.	Journal of Vacuum Science & Technology B (Microelectronics and Nanometer Structures)
JETP Lett.	JETP Letters
Jpn. J. Appl. Phys. 1, Regul. Pap. Short Notes	Japanese Journal of Applied Physics, Part 1 (Regular Papers & Short Notes)
Jpn. J. Appl. Phys. 2, Lett.	Japanese Journal of Applied Physics, Part 2 (Letters)
Kybernetika	Kybernetika
Math. Comput.	Mathematics of Computation
Math. Program.	Mathematical Programming
Microelectron. Reliab.	Microelectronics and Reliability
Microsyst. Technol.	Microsystem Technologies
Microw. J.	Microwave Journal
Microw. RF	Microwaves & RF
Nachr. tech. Elektron.	Nachrichtentechnik Elektronik
Nachr. tech. Z.	Nachrichtentechnische Zeitschrift
Nav. Res. Logist. Q.	Naval Research Logistics Quarterly
Navigation	Navigation
Networks	Networks
Oper. Res.	Operations Research
Oper. Syst. Rev.	Operating Systems Review
Opt. Eng.	Optical Engineering
Opt. Fiber Technol., Mater. Devices Syst.	Optical Fiber Technology: Materials, Devices and Systems
Opt. Lett.	Optics Letters
Opt. Quantum Electron.	Optical and Quantum Electronics
Pattern Recognit.	Pattern Recognition
Perform. Eval. Rev.	Performance Evaluation Review
Philips Tech. Rev.	Philips Technical Review
Phys. Rev. ××	Physical Review ××
Phys. Rev. Lett.	Physical Review Letters
Proc. IEEE	Proceedings of the IEEE

略 語	雜 誌 名
Proc. Natl. Acad. Sci. USA	Proceedings of the National Academy of Sciences of the United State of America
Proc. R. Soc. Lond. A, Math. Phys. Eng. Sci.	Proceedings of the Royal Society of London, Series A (Mathematical, Physical and Engineering Sciences)
Prog. Quantum Electron.	Progress in Quantum Electronics
Radio Eng. Electron. Phys.	Radio Engineering and Electronic Physics
Radio Sci.	Radio Science
Radiotekh. Elektron.	Radiotekhnika i Elektronika
RCA Rev.	RCA Review
Science	Science
Semicond. Sci. Technol.	Semiconductor Science and Technology
Semicond. Semimet	Semiconductors and Semimetals
Sens. Actuators A, Phys.	Sensors and Actuators A (Physical)
SIAM J. × ×	SIAM Journal on × ×
Siemens Rev.	Siemens Review
Simulation	Simulation
SMPTE J.	SMPTE Journal
Softw. -Pract. Exp.	Software-Practice and Experience
Solid State Commun.	Solid State Communications
Solid State Technol.	Solid State Technology
Solid - State Electron.	Solid-State Electronics
Sov. J. Opt. Technol.	Soviet Journal of Optical Technology
Sov. J. Quantum Electron.	Soviet Journal of Quantum Electronics
Speech Technol.	Speech Technology
Surf. Sci.	Surface Science
Telecommun. J.	Telecommunication Journal
Telecommun. Radio Eng. 1, Telecommun.	Telecommunications and Radio Engineering, Part 1 (Telecommunications)
Telecommun. Radio Eng. 2, Radio Eng.	Telecommunications and Radio Engineering, Part 2 (Radio Engineering)
Thin Solid Films	Thin Solid Films
Trans. ASME, J. Dyn. Syst. Meas. Control	Transactions of the ASME. Journal of Dynamic Systems, Measurement and Control
Vis. Res.	Vision Research
VLSI Des.	VLSI Design
Z. Nat.forsch. A, Astrophys. Phys. Phys. chem.	Zeitschrift fur Naturforschung A (Astrophysik, Physik und Physikalische Chemie)
19〇〇 ISSCC	19 〇 〇 IEEE International Solid-State Circuits Conference Digest of Technical Papers